

事前評価報告書

Advisory Board Meeting 開催日：平成17年7月28, 29日

評価委員：（敬称略、アルファベット順）

Prof. Masuo Aizawa (Tokyo Institute of Technology), Prof. Fritz Aldinger (Max Planck Institute for Metals Research), Prof. Akio Etori (Edogawa University), Prof. Jean Etourneau (Institut de Chimie de la Matière Condensée de Bordeaux), Prof. Colin Humphreys (University of Cambridge), Dr. Tetsuro Ohashi (National Traffic Safety and Environment Laboratory), Dr. Leslie E. Smith (National Institute of Standards and Technology), Prof. Marcel Van de Voorde (European Commission Research), Dr. Stan Williams (Quantum Science Research, Hewlett-Packard), Prof. Hiroaki Yanagida (University of Tokyo)

課題名	新世紀耐熱材料プロジェクト
研究責任者の所属・氏名	材料研究所 原田 広史
【項目】	評価結果
コメント及びアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・世界一流の研究であり、よく練られたプロジェクトのようである。 ・NIMSとしては蓄積のある分野であり、省エネルギー対応としても重要度は増すので頑張ってもらいたい。 ・この研究グループは高いレベルの実績と、将来の研究に対する高いレベルの意欲を併せ持つ優れたグループのようである。 ・地道に材料開発を進めて欲しい。より多くの確かな情報を世界に提供することが重要である。 ・新材料をタービンブレードのような重要な部分にうまく組み込むことは、非常に難しく、リスクも高い。しかしこのプロジェクトは、世界中のすべての重要な関係者と非常にうまく連携していて、そのような難しい目標に対する成功の見込みは大変に優れている。 ・伝統的だが興味あるプロジェクトである。企業は非常に関心を持っている (METI/NEDO エコエンジンプロジェクト)。 ・高温材料は重要であるが、世界中の研究者や企業による膨大な研究を忘れるべきではない。 ・最新の研究を進める努力が必要であり、研究グループは将来の目標を設定すべきである。
評価点	A, A+, A+, S, A, A, A, A+, N/A, A
総合評価点※	A

N/A=No Answer

※評価点の点数は10(S), 9(S-), 8(A+), 7(A), 6(A-), 5(B+), 4(B), 3(B-), 2(C+), 1(C)とする。総合評価点は評価委員の点数の平均点(小数点第二位以下四捨五入)をXとすると、S:X=10, S-:9≤X<10, A+:8≤X<9, A:7≤X<8, A-:6≤X<7, B+:5≤X<6, (以下同じ考え方)・・・とする。